

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2016 発表

「臨床整形外科」誌では最優秀論文賞を設け、整形外科領域に関する独創的で優れた論文を表彰することとなりました。昨年1年間(2016年, 51巻)に掲載された投稿論文を対象に、編集委員会による厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「頸椎椎弓形成術を施行した頸椎症性脊髄症と 頸椎後縦靱帯骨化症における 10 秒テスト/JOA スコア/ JOACMEQ の経時的変化, および後方除圧高位が頸部痛と 頸椎機能に与える影響に関する前向き比較研究」

藤原啓恭・他(国立病院機構大阪南医療センター整形外科)

51 巻 1 号 : 9-18

■受賞のことは

このたびは「臨床整形外科」最優秀論文賞 2016 にご選出いただき、誠にありがとうございます。

今回われわれは、頸部脊髄症に対する頸椎椎弓形成術後の 10 秒テスト/JOA スコア/JOACMEQ の経時的変化を、頸椎症性脊髄症(CSM)と頸椎後縦靱帯骨化症(OPLL)の疾患別に調査し、後方除圧高位が頸部痛と頸椎機能に与える影響を検討しました。OPLL は K-line(+) の症例のみの検討でしたが、手術治療成績において CSM と OPLL との間に有意差を認めず、また OPLL では C7 棘突起温存の有無による術後の頸部痛および頸椎機能に有意差を認めなかったと報告しました。本研究結果を、術後骨化伸展が危惧される OPLL に対する術式選択の一助としていただけますと幸いです。

本研究の実施には、米延策雄先生、海渡貴司先生をはじめ、大阪脊椎脊髄グループの先生方、大阪南医療センター整形外科の先生方および医師事務作業補助の方々に多大なご指導・ご協力をいただきました。また、大阪大学 吉川秀樹教授には、平素より多大なご支援をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。



藤原啓恭氏

本論文は、2017 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日まで 1 年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト「MedicalFinder」内において無料で閲覧いただけます。

受賞者には賞状と金一封、1 年間の本誌冊子版と電子版閲覧権を贈呈します。なお、「臨床整形外科」最優秀論文賞 2017 は、52 巻 1~12 号(2017 年)の掲載論文が対象となります。奮ってご投稿いただくようお願い申し上げます。